

# 空知森林管理署北空知支署の取組

## はじめに

当支署は、石狩川支流である雨竜川上流両岸に位置した南北に長い区域を管轄しており、上川・空知両総合振興局の1市4町に所在する約6万7千haの国有林を管理経営しています。

管内は、道内屈指の寒冷多雪地帯という厳しい自然環境下にあるものの、朱鞠内道立自然公園に象徴されるトドマツやカンバ類などの多様な樹種が混交し、天然林を中心とした森林が広がっています。

このような多様な林相の森林を有している一方、厳しい自然環境のため、伐採後の更新がうまくいかない未立木地も見受けられます。

## 各種調査の実施

当支署では、この未立木の解消に向け、様々な条件下における天然更新について各種調査を実施しており、具体的には天然更新木の発生本数・樹高を、通常の機械地拵箇所と天然更新木と比較する調査を行っています。

調査の結果、植生除去後

の残し幅に寄せられた土壌箇所では、本数は2倍、樹高は9・5倍、同じく大型機械地拵による植生除去後、表土を地表に戻した箇所では、本数は1・3倍、樹高は2・7倍という結果を得られました。



密度調整調査

今後も様々な調査を行い、天然更新を主体とした未立木の解消に向けた取組を行ない、調査結果を地域と共有して、課題解決を図っていきます。

## 地域と連携した取組

また、幌加内町に所在する北海道大学雨竜研究林と毎年相互交流見学会を実施しています。

幌加内町にもご参加いただき、三者で、寒冷多雪地域特有の課題解決に向けて、技術交流も含め、知見を交

換すること等を目的に継続的に実施することとしています。



相互交流見学会

さらに、民有林支援の一環として、ドローンの操作技術支援を行っており、先般、幌加内町の要請を受け、講習会を開催しました。



ドローン操作技術支援

講習会では、機体各部位の組立・操作等について説明を行い、その後、当支署職員のレクチャーのもと、参加した幌加内町職員全員が飛行操作・写真撮影等を

行いました。

今後は、他市町にもお声がけして講習会を開催し、操作技術の習熟と共に、森林整備に関わるアドバイザー等も含め協力していく考えです。

このほか、北竜町へのドローン技術支援について、空知総合振興局森林室と連携し、進めていくことを計画しています。



朱鞠内小学校 森林環境教育

管内の「幌加内小学校(どんぐりの森)」及び「朱鞠内小学校(わんぱくの森)」の両校とは、「遊々の森における体験活動に関する協定」を締結しています。遊々の森を活用して森林環境教育を実施することにより、若い世代のみなさんに、森林への関心を深めてもらえるよう積極的に取り組んでいます。